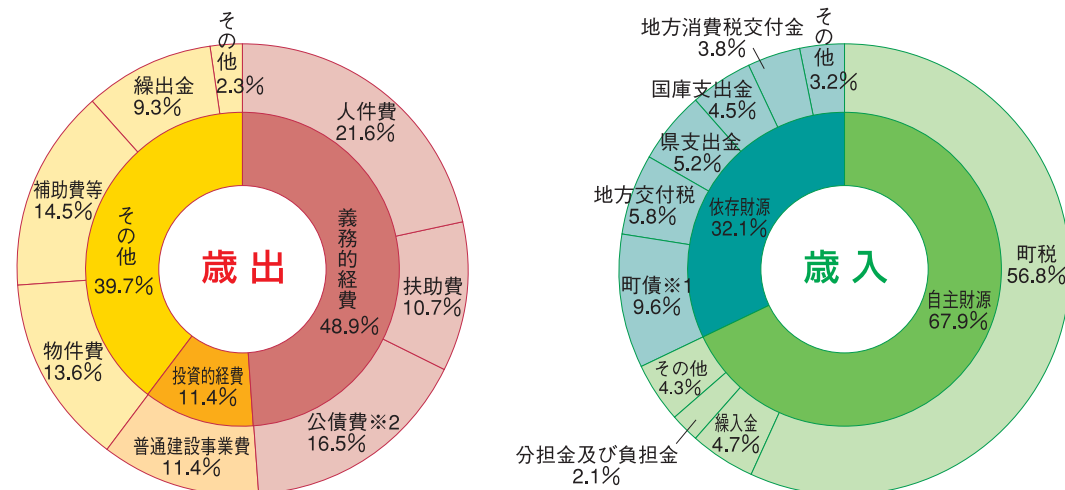


子育てのしやすい まちに向けて

総額
77億4,700万円

平成20年度一般会計予算の構成



※1 町債とは、町が事業を行うために借り入れるお金です。

※2 公債費とは、借り入れた町債の元金と利子の返済に要する経費です。

主な新規事業

- 海田東児童館に子育て支援センターを開設 301万円
- 海田町域内の県道を県に代わって維持修繕 1,180万円
- 小学校少人数指導の対象を3年生までに拡充 1,293万円
- 図書館システムの更新を実施 1,004万円
- 妊婦歯科健康診査を助成 69万円
- 海田市駅のバリアフリー化を補助 4,858万円
- 町道162号線の蟹原浄水場付近に歩道を新設 7,903万円

関連記事

- 8ページ
- 8ページ
- 9ページ
- 9ページ

会計別予算額および借入金残高見込額

区分		平成20年度 当初予算額	平成19年度 当初予算額	比較	対前年度比	平成19年度末 借入金残高見込額
一般会計		77億4,700万円	76億3,700万円	1億1,000万円	1.4%	115億1,100万円
特別会計	公共下水道事業	18億9,544万円	15億1,878万円	3億7,666万円	24.8%	99億301万円
	国民健康保険	28億2,768万円	27億7,020万円	5,748万円	2.1%	—
	老人保健	2億5,697万円	23億866万円	△20億5,169万円	△88.9%	—
	介護保険	12億8,059万円	12億6,123万円	1,936万円	1.5%	—
	後期高齢者医療	2億2,848万円	—	2億2,848万円	皆増	—
計		142億3,616万円	154億9,587万円	△12億5,971万円	△8.1%	214億1,401万円
水道事業会計		7億8,334万円	8億4,564万円	△6,230万円	△7.4%	9億6,108万円
合計		150億1,950万円	163億4,151万円	13億2,201万円	△8.1%	223億7,509万円

※平成20年度から後期高齢者医療制度が導入されるに伴い、新たに「後期高齢者医療特別会計」を設置しました。

3月定例議会を3月5日から21日まで開きました。条例の制定や改正、平成20年度予算などを慎重に審議した結果、海田町まちづくり町民参画条例の制定については賛成少数で否決、その他の議案については全会一致あるいは賛成多数で可決しました。予算審査特別委員会の審議内容については、6ページからの特集でくわしくお伝えします。



空から見たわがまち海田町

この条例は、まちづくりの主役である町民の皆さんが、主体的に町の行政に参画できる環境を整えるために必要な事項を定めることにより、町民と町がともに理想のまちの姿を考え、その実現を目指す、協働型社会を築くことを目的に提案されました。

ところが、町行政への参画にあたっての町民の責務を定めた条項が強行すぎるとの意見や、「協働」の理念は同感できるが、町民の代表である議会との議論や、その議決権との関係をどうしていくかが不明確との意見が出され、賛成少数で否決しました。

賛成討論
今までのまちづくりは、行政主体で行われてきたが、これからは町民と行政が力を合わせ将来に向けて発展の努力をしていく必要がある。この条例は、その実現のために必要と考

反対討論
この条例は、町民が町行政に参画するための理念および手続を定めるために提案したと述べられていますが、手続に関する定めが具体性を欠いている。また、町民が町行政へ参画するにあたっての責務を定めているが「しなければならぬ」など非常に強い表現となっており、改める必要がある。

海田町まちづくり 町民参画条例 賛成5..反対9（欠席1）で否決